

○ 本校の概要

○おおた教育振興プラン2014に基づく教育実践を着実に進めていく。また、昨年度の大田区教育委員会の教育研究推進校としての成果を活かすとともに、人権教育研究協力校として下記の取組の充実を目指している。 (体験的な活動を通して自己肯定感や自尊感情を高める・「いじめ防止の取組」「ボランティア活動」「ユニセフ募金活動」「人権標語や人権作文コンクールへの参加」「留学生から学ぶ取組」「夜間学級の生徒の生き方に触れる機会の設定」など) ○地域行事へのボランティア活動として、和太鼓部や吹奏楽部や軽音楽部が積極的に参加している。 ○学校支援地域本部を活用し、授業におけるゲストティーチャーの招聘や、地域の方と共に防災活動拠点訓練などを実施している。 ○習熟度に応じた学習指導の推進(数・英：習熟度別少人数指導・基礎学力の定着のため学習指導講師の活用) ○小中一貫教育の推進(学習面や生活指導面における共通目標とその実践・学習指導の工夫・体力向上の取組)
--

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	目標	取組内容	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 及び 今後の改善策	学校関係者記入欄
					コメント	
学力向上 学校関係者評価アンケート(5)(8)	生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます。	学習カルテを基に生徒と面談し、一人ひとりの学習のつまずきや学習方法について、指導する。	4:学校生活アンケート ・「授業が分かりやすい」 ・「年度当初と比較し学習への積極性が向上した」と回答した生徒・保護者の割合が90%以上	3	・「授業が分かりやすい」と回答した生徒は86%、保護者は76%であった。補習などを効果的に実施し、CD評価を減らしていく。 ・「年度当初と比較し学習への積極性が向上した」と回答した生徒は85%、保護者は68%であった。 ・夏休みの教育相談や、2学期末の三者面談などを通して、学習面のアドバイスを個別に行った。「教育相談で子どもの学習の様子を知ることができた」という質問には、保護者の91%が学習の様子を知ることができたと回答している。また、生徒の89%が学習の状況が把握できたと回答している。この結果からも、教育相談が学習の動機づけになっていると思われる。 ・数学・英語の学習指導講師を活用し、放課後補習を実施した。教員の働きかけにより、多くの生徒が参加した。しかし、補習授業に申し込みをしても継続できない生徒が少なからずいる現状である。生徒の意識を高めるとともに、学習指導講師との連携を今まで以上に図っていく。 ・学習の定着が今一歩である。各教科で工夫をして家庭学習の充実に取り組んでいく。 ・「ねらい」「まとめ」を明確にした授業は定着している。今後も授業において自己肯定感を高める取組を継続していく。	・生徒の86%が「授業が分かりやすい」と回答している。しかし、残りの生徒への対応を検討し、C・D評価が減ることを期待しています。 ・子どもたちが楽しく学習ができ、意欲を持って取り組める授業実践を引き続きお願いします。 ・家庭学習については、保護者と連携し、習慣化を進めて下さい。
		数学到達度をステップ学習チェックシートで生徒、保護者に知らせる。	3:学校生活アンケート ・「授業が分かりやすい」 ・「年度当初と比較し学習への積極性が向上した」と回答した生徒・保護者の割合が80%以上			
		学習指導講師等による数学・英語の補習を実施する。	2:学校生活アンケート ・「授業が分かりやすい」 ・「年度当初と比較し学習への積極性が向上した」と回答した生徒・保護者の割合が70%以上			
		外国語教育指導員を効果的に活用し、外国の方々とのコミュニケーション能力の育成等を図っている。	1:学校生活アンケート ・「授業が分かりやすい」 ・「年度当初と比較し学習への積極性が向上した」と回答した生徒・保護者の割合が70%未満			
		授業改善推進プランを、授業に生かす。 「ねらい」と「まとめ」を明確にした授業を実践する。また、授業の中で、自己肯定感を高める指導を行う。	4:学校生活アンケート ・「学校の規則や規律を守っている」 ・「楽しく学校生活を送っている」と回答した生徒・保護者の割合が90%以上 ○不登校生徒出現率3%未満 3:学校生活アンケート ・「学校の規則や規律を守っている」 ・「楽しく学校生活を送っている」と回答した生徒・保護者の割合が80%以上 ○不登校生徒出現率3～3.5% 2:学校生活アンケート ・「学校の規則や規律を守っている」 ・「楽しく学校生活を送っている」と回答した生徒・保護者の割合が70%以上 ○不登校生徒出現率3.5～4% 1:学校生活アンケート ・「学校の規則や規律を守っている」 ・「楽しく学校生活を送っている」と回答した生徒・保護者の割合が70%未満 ○不登校生徒出現率4%以上			
豊かな心を育む 学校関係者評価アンケート(3)(1)	子ども一人ひとりの健全な自己肯定感・自己決定力を高め、未来への希望に満ちた豊かな人間性を育みます。	小中一貫による教育の視点に立った生活指導の充実により、社会のルールや学校のきまりなどを守ろうとする意識を高める。 道徳教育推進教師を講師とした研修や、国、都及び区の資料を活用した授業等を行う等道徳指導充実のための取組を行う。	4:学校生活アンケート ・「学校の規則や規律を守っている」 ・「楽しく学校生活を送っている」と回答した生徒・保護者の割合が90%以上 ○不登校生徒出現率3%未満 3:学校生活アンケート ・「学校の規則や規律を守っている」 ・「楽しく学校生活を送っている」と回答した生徒・保護者の割合が80%以上 ○不登校生徒出現率3～3.5% 2:学校生活アンケート ・「学校の規則や規律を守っている」 ・「楽しく学校生活を送っている」と回答した生徒・保護者の割合が70%以上 ○不登校生徒出現率3.5～4% 1:学校生活アンケート ・「学校の規則や規律を守っている」 ・「楽しく学校生活を送っている」と回答した生徒・保護者の割合が70%未満 ○不登校生徒出現率4%以上	3	・「学校の規則や規律を守っている」と回答した生徒は93%、保護者は95%であった。取組を継続していく。 ・「楽しく学校生活を送っている」と回答した生徒、保護者は共に94%前後であった。 ・不登校出現率は3%未満には至っていない。しかし、適応指導教室などに通っているため、関係機関との連携をより一層深め学校復帰を目指していく。 ・いじめに関しては、引き続き未然防止や早期発見・早期対応に努めていく。特に、区の施策で実施している「学校生活調査」や「Q-U検査」などを活用し未然防止に取り組んでいく。また、スクールカウンセラーとの連携や、内容によっては関係機関との連携も視野に入れていく。なお、1年生で行っている「いじめ防止プログラム」を来年度も実施していく予定である。 ・昨年度、教育研究推進校として取り組んだ成果を、今後の学校生活に活かすよう校内体制を整えていく。	・いじめの有無に目を配り、安心して通える環境が続くことを期待しています。 ・生徒の評価結果が高いことから分かるように、学校全体が落ち着いた雰囲気になっています。今後も継続させて下さい。 ・あいさつなども大きな声でよくしてくれます。職場体験に来た生徒は、あいさつとともに作業も真面目に取り組んでいました。 ・校外で気になる生徒がいましたら直ぐに連絡します。 ・アンケートの結果を見る限り、成果評価は3ではなく4でも良いと思います。(2名)
		学校生活調査(メンタルヘルスチェック)の結果よりストレス症状のみられる生徒に対して組織的に対応する。	4:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が90%以上 3:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が80%以上 2:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が70%以上 1:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が70%未満			
		学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための取組を実施する。	4:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が90%以上 3:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が80%以上 2:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が70%以上 1:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が70%未満			
		問題行動・不登校問題等にかかわる生徒に関するケース会議等を実施する。	4:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が90%以上 3:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が80%以上 2:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が70%以上 1:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が70%未満			
		教育研究推進校の成果を活かし、自己肯定感や自尊感情を高める指導を継続する。	4:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が90%以上 3:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が80%以上 2:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が70%以上 1:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が70%未満			
体力向上 学校関係者評価アンケート(3)(4)	子ども一人ひとりの身体活動量を増加させて意欲や気力の元となる総合的な体力を育みます。	新体力テストの結果を踏まえ体力向上全体計画を作成し、計画に基づいた体育指導や「一校一取組」運動や「一学級一実践」運動を実践する。 「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組等を通して、生徒や保護者に対し、望ましい生活習慣についての意識啓発を行う。	4:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が90%以上 3:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が80%以上 2:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が70%以上 1:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が70%未満	3	・「健康や安全に気を配って生活している」と回答した生徒は、91%であった。また、「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒は、83%であった。 ・「早寝・早起き・朝ごはん」については、学校としても家庭への協力を引き続き呼びかけていく。なお、朝ごはんを食べている割合は、比較的高い方である。 ・体力向上については小中で連携し、取り組みの成果が見えてきている状況である。今後も、意図的・計画的に取り組む体力の向上を目指すしていく。	・生活習慣の見直しを進めたことで、体力向上が見られるようになってきている。継続をお願いします。 ・「早寝・早起き・朝ごはん」は、引き続き家庭への啓発を図って下さい。 ・給食に関しては、塩分を少なめ(国や都の指針に基づき)にしています。家庭にも周知を図っていきます。
		給食指導及び教科等における指導を通して、食生活の充実・改善をねらいつつ「食育」を推進する。	4:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が90%以上 3:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が80%以上 2:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が70%以上 1:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が70%未満			
		体育的行事、部活動、休み時間など様々な機会を通して運動習慣の確立を推進する。	4:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が90%以上 3:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が80%以上 2:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が70%以上 1:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が70%未満			
			4:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が90%以上 3:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が80%以上 2:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が70%以上 1:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が70%未満			
			4:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が90%以上 3:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が80%以上 2:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が70%以上 1:学校生活アンケート ・「健康や安全に気を配って生活している」 ・「部活動に積極的に参加している」と回答した生徒の割合が70%未満			
教育環境向上 学校関係者評価アンケート(6)(1)	教員の指導力向上、施設の整備や講師・支援員の配置などの学校サポート体制の充実に取り組み、学習環境の向上を図ります。	授業公開日の授業評価を、その後の授業改善に生かす。	4:学校生活アンケート ・「学習に集中して取り組める」 ・「学校生活や学習の課題に、学校は適切に対応している」と回答した生徒・保護者の割合が90%以上 3:学校生活アンケート ・「学習に集中して取り組める」 ・「学校生活や学習の課題に、学校は適切に対応している」と回答した生徒・保護者の割合が80%以上 2:学校生活アンケート ・「学習に集中して取り組める」 ・「学校生活や学習の課題に、学校は適切に対応している」と回答した生徒・保護者の割合が70%以上 1:学校生活アンケート ・「学習に集中して取り組める」 ・「学校生活や学習の課題に、学校は適切に対応している」と回答した生徒・保護者の割合が70%未満	3	・「学習に集中して取り組める」と回答した生徒は88%、保護者は75%であった。しかし、生徒の12%がC・D評価のため、その原因や対応を検討する必要がある。また、「学校生活や学習の課題に、学校は適切に対応している」と回答した生徒は90%、保護者は84%であった。 ・ICT機器の活用については、昨年度の教育研究推進校として自己肯定感を高める一助にするため、積極的に活用してきた。そのため、ほとんどの教員がICT機器を使った授業を実践している。今後は、より効果的な活用法や興味関心を引き出す使い方なども検討し、分ける授業につなげていく。 ・副籍交流の生徒は現在4名である。籍のみを置く生徒がほとんどであるが、交流の仕方については効果的な方法を在籍校と模索していく。	・生徒の88%が「学習に集中して取り組める」と回答しています。残り12%の生徒の対応が気になります。集中できない原因とその対応を検討し、C・D評価が減ることを期待しています。 ・ICT機器などを活用し、効果的な授業となるよう継続して下さい。 ・授業もいろいろと変化をつけて、興味の持てる授業にしていって下さい。 ・オリンピック・パラリンピックに向けた取組をより一層進めていって下さい。(大田区でも会場として施設などを使用するため)
		授業改善セミナー等の研修成果を生かし、主任教諭が助言・支援を行う校内研修等を実施LOJTを充実させる。	4:学校生活アンケート ・「学習に集中して取り組める」 ・「学校生活や学習の課題に、学校は適切に対応している」と回答した生徒・保護者の割合が90%以上 3:学校生活アンケート ・「学習に集中して取り組める」 ・「学校生活や学習の課題に、学校は適切に対応している」と回答した生徒・保護者の割合が80%以上 2:学校生活アンケート ・「学習に集中して取り組める」 ・「学校生活や学習の課題に、学校は適切に対応している」と回答した生徒・保護者の割合が70%以上 1:学校生活アンケート ・「学習に集中して取り組める」 ・「学校生活や学習の課題に、学校は適切に対応している」と回答した生徒・保護者の割合が70%未満			
		各種研究発表会等の研究・研修の成果を、自身の授業改善に生かす。	4:学校生活アンケート ・「学習に集中して取り組める」 ・「学校生活や学習の課題に、学校は適切に対応している」と回答した生徒・保護者の割合が90%以上 3:学校生活アンケート ・「学習に集中して取り組める」 ・「学校生活や学習の課題に、学校は適切に対応している」と回答した生徒・保護者の割合が80%以上 2:学校生活アンケート ・「学習に集中して取り組める」 ・「学校生活や学習の課題に、学校は適切に対応している」と回答した生徒・保護者の割合が70%以上 1:学校生活アンケート ・「学習に集中して取り組める」 ・「学校生活や学習の課題に、学校は適切に対応している」と回答した生徒・保護者の割合が70%未満			
		学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指し、ICT機器を活用した授業を実施する。	4:学校生活アンケート ・「学習に集中して取り組める」 ・「学校生活や学習の課題に、学校は適切に対応している」と回答した生徒・保護者の割合が90%以上 3:学校生活アンケート ・「学習に集中して取り組める」 ・「学校生活や学習の課題に、学校は適切に対応している」と回答した生徒・保護者の割合が80%以上 2:学校生活アンケート ・「学習に集中して取り組める」 ・「学校生活や学習の課題に、学校は適切に対応している」と回答した生徒・保護者の割合が70%以上 1:学校生活アンケート ・「学習に集中して取り組める」 ・「学校生活や学習の課題に、学校は適切に対応している」と回答した生徒・保護者の割合が70%未満			
		校内委員会等を確実に実施し、学校における特別支援教育を推進する。	4:学校生活アンケート ・「学習に集中して取り組める」 ・「学校生活や学習の課題に、学校は適切に対応している」と回答した生徒・保護者の割合が90%以上 3:学校生活アンケート ・「学習に集中して取り組める」 ・「学校生活や学習の課題に、学校は適切に対応している」と回答した生徒・保護者の割合が80%以上 2:学校生活アンケート ・「学習に集中して取り組める」 ・「学校生活や学習の課題に、学校は適切に対応している」と回答した生徒・保護者の割合が70%以上 1:学校生活アンケート ・「学習に集中して取り組める」 ・「学校生活や学習の課題に、学校は適切に対応している」と回答した生徒・保護者の割合が70%未満			
家庭・地域の教育力向上 学校関係者評価アンケート	学校・家庭・地域の果たすべき役割や責任を明らかにするとともに相互の連携を深め、地域とともに子どもを育てる仕組みをつくりまします。	教育目標・学校経営方針・学校評価等の基本情報、生徒の活動情報等をホームページ等で公開及び更新することにより、積極的に情報を発信す 地域教育連絡協議会において、生徒の変容等の具体的な資料を作成して、評価に必要な学校の情報を適切に提供し、適正な評価を受けるよう努める	4:学校生活アンケート ①「学校の様子をHPや配布文書で知ることができる」 ②「生徒は地域の活動に関心があり、参加しようと思う」と回答した保護者の割合が90%以上 ②生徒の割合が80%以上 3:学校生活アンケート ①「学校の様子をHPや配布文書で知ることができる」 ②「生徒は地域の活動に関心があり、参加しようと思う」と回答した保護者の割合が80%以上 ②生徒の割合が70%以上 2:学校生活アンケート ①「学校の様子をHPや配布文書で知ることができる」 ②「生徒は地域の活動に関心があり、参加しようと思う」と回答した保護者の割合が70%未満 ②生徒の割合が60%未満	3	・「学校の様子をHPや配布文書で知ることができる」と回答した保護者は91%であった。今後も定期的な学校便りや学年便りなど、内容を充実させ発行していく。なお、HPについては更新の頻度を上げ内容の充実を図っていく。 ・「生徒は地域の活動に関心があり、参加しようと思う」と回答した生徒は63%であった。(昨年度は58%で5%上昇)部活動との兼ね合いもあるが、地域行事に目を向けさせ、時間を作り参加するようさまざまな場面で促していく。 ・防災活動拠点訓練は、1年生にとって防災意識が確実に高まり、地域の方々を知る機会にもなるので今後も継続していく。	・ボランティアの参加等、地域の活動に関心を持つ生徒が増えることを期待しています。 ・防災活動拠点訓練は、防災意識を高めるだけでなく、地域との結びつきにも役立っています。 ・地域に関わる者として、「子どもは、地域の活動に関心があり参加しようとしている」の質問に対して、C・D評価の割合が他の質問と比べて多いのが気になります。ぜひ、地域の活動に生徒が関心を持つよう取り組んでほしい。また、保護者の地域参加や協力もしていただきたいと思います。 ・学校ホームページが新しくなったので、是非ご覧下さい。
		学校支援地域本部と連携するなどして、地域力を生かした特色ある教育活動を実践する。	4:学校生活アンケート ①「学校の様子をHPや配布文書で知ることができる」 ②「生徒は地域の活動に関心があり、参加しようと思う」と回答した保護者の割合が90%以上 ②生徒の割合が80%以上 3:学校生活アンケート ①「学校の様子をHPや配布文書で知ることができる」 ②「生徒は地域の活動に関心があり、参加しようと思う」と回答した保護者の割合が80%以上 ②生徒の割合が70%以上 2:学校生活アンケート ①「学校の様子をHPや配布文書で知ることができる」 ②「生徒は地域の活動に関心があり、参加しようと思う」と回答した保護者の割合が70%未満 ②生徒の割合が60%未満			
		1年生が参加する「防災活動拠点訓練」や、祭礼/パトロール・PTA活動・地域行事への引率などを通して、地域との連携を深めている。	4:学校生活アンケート ①「学校の様子をHPや配布文書で知ることができる」 ②「生徒は地域の活動に関心があり、参加しようと思う」と回答した保護者の割合が90%以上 ②生徒の割合が80%以上 3:学校生活アンケート ①「学校の様子をHPや配布文書で知ることができる」 ②「生徒は地域の活動に関心があり、参加しようと思う」と回答した保護者の割合が80%以上 ②生徒の割合が70%以上 2:学校生活アンケート ①「学校の様子をHPや配布文書で知ることができる」 ②「生徒は地域の活動に関心があり、参加しようと思う」と回答した保護者の割合が70%未満 ②生徒の割合が60%未満			
			4:学校生活アンケート ①「学校の様子をHPや配布文書で知ることができる」 ②「生徒は地域の活動に関心があり、参加しようと思う」と回答した保護者の割合が90%以上 ②生徒の割合が80%以上 3:学校生活アンケート ①「学校の様子をHPや配布文書で知ることができる」 ②「生徒は地域の活動に関心があり、参加しようと思う」と回答した保護者の割合が80%以上 ②生徒の割合が70%以上 2:学校生活アンケート ①「学校の様子をHPや配布文書で知ることができる」 ②「生徒は地域の活動に関心があり、参加しようと思う」と回答した保護者の割合が70%未満 ②生徒の割合が60%未満			
			4:学校生活アンケート ①「学校の様子をHPや配布文書で知ることができる」 ②「生徒は地域の活動に関心があり、参加しようと思う」と回答した保護者の割合が90%以上 ②生徒の割合が80%以上 3:学校生活アンケート ①「学校の様子をHPや配布文書で知ることができる」 ②「生徒は地域の活動に関心があり、参加しようと思う」と回答した保護者の割合が80%以上 ②生徒の割合が70%以上 2:学校生活アンケート ①「学校の様子をHPや配布文書で知ることができる」 ②「生徒は地域の活動に関心があり、参加しようと思う」と回答した保護者の割合が70%未満 ②生徒の割合が60%未満			
夜間学級との連携	夜間学級の生徒から、生き方などを学ぶ機会をつくりまします。	夜間学級で働きながら学んでいる生徒の姿や話を聞くことで、昼間の生徒に「生き方を考える」など良い影響を与えている。	4:学校生活アンケート ・「夜間学級の生徒の話は、自分の生き方にとって参考になった」と回答した生徒の割合が80%以上 3:学校生活アンケート ・「夜間学級の生徒の話は、自分の生き方にとって参考になった」と回答した生徒の割合が70%以上 2:学校生活アンケート ・「夜間学級の生徒の話は、自分の生き方にとって参考になった」と回答した生徒の割合が60%以上 1:学校生活アンケート ・「夜間学級の生徒の話は、自分の生き方にとって参考になった」と回答した生徒の割合が60%未満	4	・1年生にとっては、夜間学級の状況や夜間の生徒を知るきっかけになり、貴重な体験である。特に、外国籍の方や日本人の高齢者の話を聞くことで、自分自身の生活環境や学習に取り組む姿勢を考える機会になっている。今後の自分自身の進路を考える際の一助と位置付け、より一層充実を図り実施していく。	・夜間学級の生徒との触れ合いは大事だと思います。ぜひ、今後も継続して下さい。 ・さらなる交流の機会を持つことを期待しています。 ・夜間の生徒や卒業式の様子から学ぶことが多くあります。
			4:学校生活アンケート ・「夜間学級の生徒の話は、自分の生き方にとって参考になった」と回答した生徒の割合が80%以上 3:学校生活アンケート ・「夜間学級の生徒の話は、自分の生き方にとって参考になった」と回答した生徒の割合が70%以上 2:学校生活アンケート ・「夜間学級の生徒の話は、自分の生き方にとって参考になった」と回答した生徒の割合が60%以上 1:学校生活アンケート ・「夜間学級の生徒の話は、自分の生き方にとって参考になった」と回答した生徒の割合が60%未満			
			4:学校生活アンケート ・「夜間学級の生徒の話は、自分の生き方にとって参考になった」と回答した生徒の割合が80%以上 3:学校生活アンケート ・「夜間学級の生徒の話は、自分の生き方にとって参考になった」と回答した生徒の割合が70%以上 2:学校生活アンケート ・「夜間学級の生徒の話は、自分の生き方にとって参考になった」と回答した生徒の割合が60%以上 1:学校生活アンケート ・「夜間学級の生徒の話は、自分の生き方にとって参考になった」と回答した生徒の割合が60%未満			
			4:学校生活アンケート ・「夜間学級の生徒の話は、自分の生き方にとって参考になった」と回答した生徒の割合が80%以上 3:学校生活アンケート ・「夜間学級の生徒の話は、自分の生き方にとって参考になった」と回答した生徒の割合が70%以上 2:学校生活アンケート ・「夜間学級の生徒の話は、自分の生き方にとって参考になった」と回答した生徒の割合が60%以上 1:学校生活アンケート ・「夜間学級の生徒の話は、自分の生き方にとって参考になった」と回答した生徒の割合が60%未満			
			4:学校生活アンケート ・「夜間学級の生徒の話は、自分の生き方にとって参考になった」と回答した生徒の割合が80%以上 3:学校生活アンケート ・「夜間学級の生徒の話は、自分の生き方にとって参考になった」と回答した生徒の割合が70%以上 2:学校生活アンケート ・「夜間学級の生徒の話は、自分の生き方にとって参考になった」と回答した生徒の割合が60%以上 1:学校生活アンケート ・「夜間学級の生徒の話は、自分の生き方にとって参考になった」と回答した生徒の割合が60%未満			

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A：自己評価は適切である B：自己評価はおおむね適切である C：自己評価は適切ではない D：評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。